

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・新規)

No. 1

事務事業名	アジア国際戦略推進事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	企画調整課		
課長名	増田 正治	内線	221
担当者名	小林 努	内線	226

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040202	活力ある商工業の振興
施策		商工業経営基盤の強化と創業支援
関連施策		

会計	一般会計		
款	2	総務費	
項	1	総務管理費	
目	6	企画費	
事業コード	320000	外国人材活用推進事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市アジア国際戦略(策定中)	
重点事業		

【PLAN(計画)】

計画するに至った経緯等(現状と課題)	<p>少子高齢化の進展によって、本市においても2010年をピークに生産年齢人口が減少を続けており、様々な業種の市内企業等から、労働力が不足しているとの声が聞かれる。</p> <p>また、同じく少子高齢化の影響で国内市場が縮小していくことから、市内企業等が持続的に発展していくためには、事業の海外展開を実施する必要があるが、市内企業等内に海外展開に適した人材が不足している実態がある。</p> <p>本市では平成28年度に「大村市アジア国際戦略」を策定し、戦略分野の1つとして「国際人材の活用・育成」を掲げ、外国人材を活用してこれらの課題の解決に取り組む。</p>
--------------------	---

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内企業等
意図 対象をどのような状態にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働力不足を解消し、生産力や業績の向上を図る。</li> <li>・事業の海外展開に適した人材の確保につなげ、海外展開に弾みを付ける。</li> </ul>

事業概要 意図を達成するために実施することは何か(解決策)	<p>海外には人口が増加を続けている国々があり、日本の文化や日本語を学び、日本での就労を望む人材が多数存在する。本事業で、外国人材活用に関係する日本及び外国の組織と連携したセミナーの開催等を通じ、そういった外国人材を活用できる技能実習制度や高度外国人材活用制度等についての情報を、広く市内企業等に周知する。</p>		
事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等			

【DO(実施)】

		①				②			
活動指標	指標名	セミナー開催回数							
	算定式								
	初年度計画値	平成 29 年度	単位	回	1	平成 年度	単位		
	全体計画値	平成 年度				平成 年度			
成果指標	指標名	セミナー参加者数							
	算定式								
	着手前現状値	平成 29 年度	単位	人	0	平成 年度	単位		
	完了後計画値	平成 年度				平成 年度			

項目	年度	全体計画		29年度		30年度		31年度		
			補助率		補助率		補助率		補助率	
事業費 千円		0		600		600		600		
内訳	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源			600		600		600		
備考		事業内容			事業内容			事業内容		
		セミナー開催、アジア国際戦略官民連携会議開催			セミナー開催、アジア国際戦略官民連携会議開催			セミナー開催、アジア国際戦略官民連携会議開催		

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

妥当性	<市が実施すべき事業かどうか>
	市内企業等の振興のために、市が実施することは妥当である。
有効性	<施策にどのような影響を及ぼすのか>
	本事業を実施することで、市内企業等の労働力不足の解消や、事業の海外展開に適した人材の確保につながり、市内企業等の経営基盤の強化に資する。
効率性	<コストや負担割合は妥当か>
	セミナー会場に市の施設を使用し、外国人材活用に関係する日本及び外国の組織と連携することにより、最小限度の費用で実施する。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

1次評価	意見	2次評価	意見等	方向性	採用	不採用
				事業の方向性は認めるが、予算査定時に事業の全体像(各課が実施する事業等)を明確に示すこと。		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。